

一九〇八番

春はるされば 水草みくさの上うへに 置おく霜しもの 消けつつも我あれは  
恋こひ渡わたるかも

一九〇九番

春霞はるかすみ 山やまにたなびき おほほしく 妹いもも相見あひみて  
後恋のちこひむかも

一九一〇番

春霞はるかすみ 立たちにし日ひより 今日けふまでに 我あが恋止こひや  
まず 本もとの繁しげけば